

# 特集：登別市の財政公表

## まちの資産を みてみよう

市は、これまで、さまざまな方法で市の財政状況を分析し、市民のみなさんにお知らせしてきました。

今号では、平成14年度予算の執行状況と、13年度末のデータを基に作成した『バランスシート』（貸借対照表）を通して、市の社会資本として整備してきたまちの資産や負債などの状況についてご説明します。

### バランスシートで 分かること

みなさんは、『バランスシート』（貸借対照表）をご存じですか。現在の市の会計は、家庭でつけている家計簿や子どもの小遣い帳と同じく、現金がいくら入ってきて、いくら使ったかという現金の流れを把握する『単式簿記』という方法をとっています。

この方法は、1年間に入ってきたお金（歳入）と使ったお金（歳出）の出入りの状態をつかめるので、年度単位の財政状況が分かります。

これに対して、財産の状況を分かりやすい表にしたのが複式簿記の手法による『バランスシート』（貸借対照表）です。

このバランスシートは、土地や建物など現在まで整備された資産の状況や、市の借金など将来への負担となる債務を表しており、今後の財政運営をどのように進めていくか検討するのに役立つものです。

しかし、バランスシートは利益を追求する企業の財政状態を明らかにするために発達したもので、住民福祉の向上を目的としている地方自治体にそのまま用いるわけにはいきません。

このため、企業で用いられているバランスシートの枠組みを生かし、いくつかの工夫を施した地方自治体

のバランスシートの作成基準を総務省が作成し、平成12年3月に公表しました。

今後、多くの市町村がこの基準により作成するものと考えられます。登別市も他の市町村との比較が容易に行えるという利点があることから、おおむねこの基準でバランスシートを作成しています。

### バランスシートの 仕組み

バランスシートは、おおよそ次のような仕組みになっています【3ページの表1参照】。

左側を借方、右側を貸方といいます。借方は資産の状況を表し、資産は大きく、『公共資産』『投資等』『流動資産』からなっています。

一方、貸方は『負債』と『正味財産』を表しています。負債は、今後とも公共資産を利用する次の世代が応分の負担をするものです。

正味財産は、国・道支出金（1）と、市税や地方交付税（2）などの一般財源からなっています。つまり資産を生むための国や道の支出金と市民の負担で表します。

借方（資産）と貸方（負債＋正味財産）は同額になります。つまり資産＝負債＋正味財産で左右のバランスが取れている状態となります。

資産のうち、公共資産の金額を計算するために、現在の市の会計には